

【前年度の改善事項に対する令和元年度の取り組み】

① 保護者会、勉強会の定期的な開催と参加率の向上

実施日を日曜日に設定し、利用児とご兄弟の同伴可能な内容で保護者会を企画した。結果、全体の約 30%のご家庭にご参加いただき充実した会を開催できた。

② 避難訓練、避難マニュアル等の周知

避難訓練を 1 週間実施することで、利用児ができるだけもれないように参加できるようにした。また、避難マニュアルだけではなく、大雨・台風・大雪の際の対応に関しても周知した。

【令和元年度の評価結果】

職員による自己評価

A環境面

入口の段差、机椅子のサイズなどバリアフリーの配慮が弱い部分がある。また、トイレが男女共用であることも課題。

B児童への支援内容

業務改善に向けて、毎日のミーティングに加え、社員のみでの会議、社員と非常勤職員での全体会議を月に 1 回ずつ開催している。その中で支援の内容の共有を図り、支援方法の改善について協議している。

C関係機関との連携

送迎で学校にお伺いする際に、以前のルールや取り決め（敷地内にどこまで立ち入りできるか、車の駐車場所など）を継続するだけではなく、毎年改めてご挨拶をする、確認を取るなどの対応をしたい。

D保護者への説明責任・信頼関係

モニタリング面談に加え、講習会や保護者会を実施した。来年度も保護者様のニーズを満たせるような企画を実施したい。

E非常対応

避難マニュアル、緊急対応マニュアルの策定ができた。今年度の契約者様から「身体拘束の同意書」を取り交わすようにし、身体拘束をする緊急やむを得ない場合についてのご説明をした。

保護者による評価

A環境面

活動スペースや職員の配置数、専門性に関してはご満足度が高いが、バリアフリーへの配慮が相対的に弱くなっている。

B児童への支援内容

放課後等デイサービス計画について適切に作成され、また、プログラムへの工夫も感じていただけている。放課後児童クラブ、児童館との交流については実施されていない。

C保護者への説明等

利用児の発達の状況、課題などについて共通理解ができしており、モニタリング面談も適切に行われている。父母会、保護者会については今年度が第 2 回目の開催となり、前回よりも参加率が上がった。

D非常対応

ほとんどのご家庭が非常対応について、認知していただけている。

E満足度

前年度から引き続き、総合的に高評価をいただくことができた。

事業所内での分析

【共通点】

- ・定期的にモニタリングと計画の見直しを行い、保護者の方との面談が行えている。また、活動プログラムは個別のニーズに対応できるよう工夫されている。
- ・入口の段差やトイレなどバリアフリーの配慮が弱い部分がある。
- ・放課後児童クラブ、児童館等との交流については実施されていない。

【相違点】

- ・苦情対応について適切に行っていると事業所側は評価しているが、僅かではあるものの「どちらでもない」と回答した保護者の方がいた。

分析・検討してみた…

事業所の強み

- ・毎日のミーティングで支援内容の振り返りや次に繋げるための反省を行い、それに加えて月に1度は職員全員が意見交換するための会議を開いている。それによって職員同士の連携が図れるようにし、利用児への共通理解を持ちながら支援を行っている。

事業所の改善点

- ・連携の場になるような保護者会を来年度も設けていく。
- ・専門機関や専門職との連携を図り、支援についての助言をもらう機会やその仕組みを整える。
- ・苦情に繋がりそうなケースについて予め想定し、対応策を検討・周知する。
- ・施設外の子供たちと関わる機会を設ける。

事業所の改善への取り組み

- ・保護者同士の連携を目的とした保護者会を実施する。
- ・PDCAサイクルが今以上に機能していくよう、ミーティングの方法や記録の取り方などを工夫し、さらに臨床心理、機能訓練などの専門的視点を積極的に取り入れ、より支援の質の向上を目指していく。
- ・苦情や事故に繋がりやすい場面について想定し、対応策やマニュアルを設ける。
- ・地域のイベントやお祭りなどに参加し、施設外の子供たちとの交流を図る。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度で3回目の自己評価になりますが、改善目標に向けての取り組みを行った結果がよく表れました。とくに避難・緊急対応マニュアルの周知と保護者会の開催に関しては、昨年度よりも大きくポイントが伸びました。全体的に高評価ではありますが、「どちらともいえない」「いいえ」の回答こそ、事業所を改善する大切なお声と考え、全てのご利用者様のニーズにお応えできるよう、今後も努力して参ります。

事業所名 オレンジスクール 小岩教室
担当者 管理者 加瀬ひとみ

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール小岩教室

保護者数：41 回収数：39 割合：95%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	37	2	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	36	2	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	9	0	・中の状況を見たことがないので設置の 状態がわからない。	・ご希望の方には見学をご案内し、指導 室内の様子や環境面の工夫について知っ ていただけるようにします。
適切 な支 援提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	39	0	0		
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	36	3	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	23	6	・学習が主なのではないかなと思う。	・地域のお祭りやイベント等の開催状況 に応じて、交流の場が作れるようにして いきます。
保護 者へ の説 明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	2	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	37	2	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	37	2	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28	9	2		・来年度も保護者様の連携を目的に、保 護者会の開催を実施する予定です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	35	4	0		・苦情に繋がりがやすい状況を予め想定 し、定期的に対応を振り返っていきま す。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	1	0	・送迎の時にその日の様子を伝えてくれ ると嬉しい。	・送迎時だけでなくサービス提供記録、 LINEなどの手段を使って細やかな情 報伝達に努めていきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	38	1	0		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	39	0	0		
非常 時等 の対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	38	1	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36	3	0		・年に2回以上、長期休み中に行ってい ます。週に何日間か期間を設け、多く のお子様に参加できるようにしてい きます。

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	34	4	1	・学習と遊びの時間の構成がちょうど良い。	・今後もお子様方の様々なニーズに合わせた活動や課題をご用意していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	38	1	0	・先生方の日々の努力と課題への工夫を感じている。	・支援の質の向上を目指し続け、皆様により一層の満足感を届けられるよう来年度も励んで参ります。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール小岩教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令を遵守しています	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・法令を遵守しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・トイレが男女共同、入口に段差があります。	・ハード面はすぐに変更できない部分もありますが、できる限りの環境調整をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・月に1回ずつ、常勤職員のみでの会議、常勤と非常勤合わせた全体での会議を行い、支援内容の検討を行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年、改善を行っています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HPで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・自治体による実地検査を受けた後、業務改善を図りました。「第三者評価機関」の評価は実施していません。	・今後、実施するか検討します。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部研修、社内研修に参加しています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者様、お子様のニーズや課題を引き出すために面談での聞き取りを行うこと、日ごろ様子を共有しあうことなどに努めています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・事業所内で統一したアセスメントツールを利用しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎日の打ち合わせに加えて、毎月職員全体での会議を行い、プログラムの検討をしています。	
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			・お子様が楽しめる活動を日々模索しながら、提供しています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・課題はお子様のニーズや特性に合わせて用意しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・学習は個別活動メインで、遊びを通じた療育は集団の中で表れる課題を目標に設定しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前にその日指導に携わる職員全員で打ち合わせを行っています。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・日々の振り返りは詳細に行うことを心がけています。		

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援終了後、職員全員が閲覧できる管理システム上に記録を残しています。		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に1度、見直しを行っています。		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			・自立支援、創作活動、余暇の支援を行いました。	・地域交流の機会については今後、検討し取り入れていきたいです。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管が参画しています。	・サービス担当者会議や関係機関連携会議等は児発管が参画し、他の職員に対しては情報共有の場を設け、連携体制の一層の強化に努めています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・江戸川区の「放課後等デイサービス連絡会」に所属し、地域全体で情報共有ができるよう努めています。	・日々の連絡調整に加え、学校との情報共有についても毎年更新していけるようにします。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			・これまでに該当する方はいらっしゃいません。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			・ご家庭より「就学支援シート」のご提出を必要に応じていただいています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			・これまでに該当する方はいらっしゃいません。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				・今年度は見学会に参加しました。	・専門家から必要な助言が得られるような体制を、来年度以降整えていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・今年度は実施していません。	・地域のお祭りやイベント等に参加することでお客様方の交流や活動の場を広げていきたいです。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		・今年度は参加していません。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・hugのマイページを利用し、支援終了後毎回様子をお伝えしています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				・保護者会を実施し、アナログゲーム療育の体験、ふれあい遊びのレクチャー等を行いました。	
保護者	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				・契約の際にご説明しています。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				・モニタリング面談の際にお話をお伺いさせていただいています。それ以外にもご希望があれば電話や面談で相談に応じています。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				・これまでに2度、保護者会を開催しました。	・来年度も保護者様の連携の場になるような保護者会を開催する予定です。

への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応の方法については契約時にご説明することに加え、事務所内に掲示しています。	・苦情に繋がりがやすい状況を予め想定し、定期的に対応を振り返っていきます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・HPでブログを公開しています。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お子様の特性や保護者様のニーズに合わせて連絡や相談をするようにしています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・今のところ実施していません。	・今後、検討してまいります。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・送迎時の事故、トラブルなどの対応マニュアルについても策定しています。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年に2回以上行っています。	・お子様方ももれなく参加できるように、何日間か期間を設け実施します。
	④⑩	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・啓発ポスターを作成し、虐待に該当する行為や通報先を事務室内に掲示しています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束に関する同意書を取り交わすようにしています。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・ご家庭から対応について伝達していただいています。	・定期的アレルギーや持病等についての情報共有を図ってまいります。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット事例は作成したものを職員全員で共有しています。	・定期的にヒヤリハット事例の振り返りを行い、再発防止を図ってまいります。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。